

菜食健美ふくしま！ 地域特産物活用事業（継続）

1 趣 旨

保健機能を持つおたねにんじんやエゴマ等地域特産物の生産振興を図るとともに、県民がその有用性に目を向け食する機会を増やすことで、地域内流通を活性化させ、地域資源の活用促進と食から始める健康づくりを目指す。

2 事業内容

(1) 生産振興事業

おたねにんじん産地の生産体制強化や種子確保を支援するほか、薬用作物、エゴマ等の生産拡大に向けた農業機械導入などの取組への支援や、技術的な課題の試験研究・解決に取り組む。

(2) 需要拡大・地域連携事業

保健機能に着目した販路拡大・収益性向上に向けた産地の取組を支援するとともに、観光、飲食店、教育等と連携した需要喚起に向けた活動を展開し、県民に食してもらえる環境づくりを進める。

3 事業実施主体 県、市町村、協議会、農業協同組合、営農集団、認定農業者 等

4 予算額 23,786千円

5 補助率 1/2以内、定額

6 事業実施期間 令和元年度～令和3年度

【担当課：生産流通総室園芸課 024-521-7355】

199

菜食健美ふくしま！ 地域特産物活用事業

保健機能等を有する地域特産物の生産振興と県民の食用需要拡大を支援する。

背景

ふくしまの地域資源

福島県は、従来から保健機能を有する地域特産物の産地。

- ・おたねにんじん（全国第2位 H27）
- ・エゴマ（全国第2位 H27）

震災後、産地規模が縮小！

ふくしま「医食同源の郷」づくり事業 (H28～H30)

成果

- ・ おたねにんじんは、H28～H29で、6名の新規栽培者確保に繋がっている。
- ・ エゴマは、H28～H30で県内8産地で同事業を活用し、産地化の動きが活発化。H29栽培面積は、H27対比で185%に拡大。
- ・ 平田村や磐梯町等、薬用作物等によるまちづくりに注力する市町村がある。

課題

- ・ おたねにんじんは、食用需要の高まりに対応できる生産体系の確立（2～3年生出荷体系の確立）等。
- ・ エゴマは、更なる省力化及び県産エゴマ油の品質向上等。

高齢化の進展、メタボ率全国ワースト4位

県民の食の見直し・健康づくりには、保健機能を有する地域特産物を有効活用すべき！

事業内容：R元～R3

○産地の生産振興

- ・ 産地規模拡大に必要な資材や機械導入
- ・ 地元産種子の安定供給
- ・ 新規栽培者向け研修会やセミナー等による技術支援
- ・ おたねにんじん：効率的な育苗技術の確立及び県オリジナル品種の維持・増殖（研究開発）
- ・ エゴマ：汎用コンバイン導入に伴う収穫、調製時の品質保持技術の確立（研究開発）

○販路開拓、食用需要喚起

- ・ 加工品の試作、機能的成分表示等による差別化
- ・ 観光、地元飲食店や直売所等と連携した新たな食用需要喚起
- ・ 家庭向け料理講習会の開催、食べ方レシピの発信
- ・ 地元量販店等へのアプローチ
- ・ 新たな食用需要に対応した2～3年生出荷体系の確立（再掲 育苗技術の応用）（研究開発）

県内流通の活性化

栽培面積全国第1位（エゴマ、おたねにんじん）
地域資源の再発見、食から始める健康づくり

200